

第6期 第3回 苫小牧市中小企業振興審議会要旨

- 1 日時 令和5年11月22日(水) 13:30~14:50
- 2 場所 苫小牧市役所 職員会館3階 304会議室
- 3 出席

(1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員

遠藤委員、奥村委員、加藤委員、木村委員、黒井委員、小玉委員、佐藤委員、定蛇委員、高橋委員、長澤委員、藤本委員、若狭委員
※五十嵐委員、玉川委員、中島委員は欠席

(2) 事務局(市)

産業経済部 : 小名部長
産業振興室 : 白川室長、企業政策室 : 木澤室長
商業振興課 : 小泉課長、由利副主幹、高橋主査、山岸主査、笹村主事
工業・雇用振興課 : 倉持課長、齋藤主査、吉田主査

4 概要

(1) 開会

苫小牧市中小企業振興審議会開会(委員15名中12名出席、苫小牧市中小企業審議会規則第4条第2項の規程による審議会開催の定足数を満たしている)

(2) 議事

①第二次苫小牧市中小企業振興計画における令和3年経済センサス確報結果について

事務局より、資料1及び資料1-1~1-4を基に説明。

《意見・質問》

○高橋会長 確報値が出た結果でも相違が少ないことと、審議会での議論や、商工会議所や同友会のデータを活用して第二次計画が作られた。

②市内中小・小規模事業者からの意見聴取の在り方について

事務局より、資料2を基に説明。

《意見・質問》

○高橋会長 第二次計画を策定した時はコロナがあり、様々な状況も変わり、現状把握が難しいなかで、第二次計画は策定された。コロナが明け、必要性があればまたアンケートの実施も考えられると把握している。

○小玉委員 施策に関する調査については、もう少し踏み込んだ内容で意見を求めても良いのでは。

○事務局 支援策を議論する上で審議会の場の議論だけでは不足するため、アンケートが必要との議論が高まれば実施を検討したい。

○高橋会長 アンケートの中身は、もう少し突っ込んだ内容にすべきとの指摘については、意見交換会などでも詳しい話を伺いたい。

○藤本委員 もう二次計画は承認されスタートしているが、事後的にアンケート

をやるべきかどうかという問い掛けなのか。

- 事務局 今後、二次計画を進める過程や三次計画を策定していく中での必要性ということ。
- 藤本委員 中間とか第三次計画に向けてという意味で、実際の市内事業者の声を聞くのであれば、アンケート調査実施について全く異論はない。
- 高橋会長 二次計画は市のほうでも様々な形で検証しつつ計画を作り、我々も確認してきた。三次計画はもちろん、今後アンケート収集が必要となれば実施を検討するという認識を審議会でも確認した。

(3) 報告

① 苫小牧市中小企業者サポートブックの公表について

事務局より、資料3を基に報告。

《意見・質問》

- 奥村委員 サポートブックに書かれている事業は、令和9年度まで必ず引っ張るなどの検討がされるのか。
- 事務局 事業の予算は年度毎のため、確約するものではなく、担当課において毎年見直しが行われると考える。
- 高橋会長 このサポートブックを実際に活用するのは中小企業者なので、中小企業者が活用しやすいように、見直しが必要であればお願いしたい。
- 加藤委員 非常に分かりやすくまとまっていると思う。これはパンフレットのような形で発行されるのか。どのような形で一般の方へ渡すのか。
- 事務局 市のホームページやとまサポにてデータ形式で公開しており、冊子では配っていないので、データ媒体でご覧いただきたい。

② 苫小牧管内の雇用・失業情勢について

佐藤委員より、資料4を基に報告。

----- 意見・質問なし -----

③ 市内企業の雇用・採用の状況について（企業訪問結果）

事務局より、資料5を基に報告。

《意見・質問》

- 奥村委員 正規採用の状況で良いのだが、トータルを100としたときの高卒対大卒の比率のようなものは分かりますか。
- 事務局 現時点でそこまでの状況が把握しておりません。
- 高橋会長 もし必要であれば、調べてお話をさせていただきたいと思います。

(4) その他

- ・ 審議会終了後、意見交換会を引き続き開催する旨案内。
- ・ 次回の審議会は、2月8日（木）13時30分から苫小牧商工会議所の6階にて開催予定であることを案内。

(5) 閉会